



会長に就任して

池内 泉



定期総会において承認を受け、今年度の会長に就任しました。

私はガイドの会に入会後まだ年数が浅く、まだまだ学ぶことが多くあり今回の会長就任に対して大きな責任を感じておりますが、皆様からの心強いサポートを頼りに

精進する所存でございます。

現在の会員数は41名となりガイドの会発足時以来、最小の人員となっておりますが、今年度は「ふるさと案内人養成講座」が開かれます。ガイド活動を活性化し、将来を担っていく人材を育て、今後のガイドの会を発展させるには今回の養成講座の成否がカギを握っていると考えています。また来年の大河ドラマは「豊臣兄弟！」が予定されており、天下分け目の決戦の舞台である大山崎が注目され、多くの観光客が訪れると予想されます。これに対して十分な心構えが必要です。

さらに2026年は大山崎ふるさとガイドの会が30周年を迎える年でもあり、記念式典などを通じて多くの方々に会の活動を認知して頂く絶好の機会です。学校、役所等の公共の機関に対しても出前ガイド等の手法を用いて、多くの関係者に注目されるような活動を行う所存です。

これまで諸先輩が作られた伝統を守り、かつ新規会員も楽しく興味を持ってガイド活動に励めるような「ふるさとガイドの会」をめざしましょう。一年間宜しくお願い致します。

令和7年度定期総会報告

4月18日に令和7年度の定期総会が開催されました。最初に吉岡会長の「来年は設立30周年を迎える。諸先輩のおかげで今のOFGがある。今年はふるさと案内人養成講座が開かれるので会員を増やすためにも皆様のご協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

来賓として6名の出席をいただき、前川町長、井上町議会議長、南教育長、斎藤商工会会長からご祝辞をいただきました。町長は「川・町の活用」を行ってきたいとの思いを述べられました。また、武田総務部長、浅田教育次長にもご出席いただきました。

総会議事に入り、会長から令和6年度の事業報告がおこなわれ、会計担当幹事からの会計報告と監査役からの監査報告がありました。その後、新役員を選出と承認が行われました。池内新会長からは「今年度の最重点はふるさと案内人養成講座であり、これに全力を注ぎたい」との挨拶がありました。令和7年度の事業計画と会計予算が提案・承認されました。最後に新会長から新役員、新幹事の紹介があり閉会となりました。

午後からは会食と懇親会が行われ、芸達者な会員による新舞踊やダンス、合唱、マジックなどの余興もあり楽しい時間を過ごすことができました。



(副会長 三宅秀輝 記)

3月～4月の活動実績

1. 主なガイド
 - ・3月7日(金) 阪急交通社「たびコト塾」同行ガイド 16名
 - ・3月7日(金) 阪急交通社「たびコト塾」出前ガイド 35名
 - ・3月9日(日) NPO吹田歴史文化まちづくり協会 19名
 - ・3月15日(土) ミニガイド「天王山と史跡巡り」 28名
 - ・3月28日(金) レイカディア大学フォトウォーク部 33名
 - ・3月29日(土) 水辺の散策 36名
 - ・4月2日(火) 東京山の会 (MT会) 18名
 - ・4月19日(土)～4月27日(日)の土・日 定点ガイド 330名
 - ・4月25日(金) ビーフリーツアー水戸 16名
2. 会の行事など
 - ・3月23日(日) 小企画展説明会 23名

- ・3月23日(日) 古文書講座「淀川沿岸の近世文書を読む」 15名
- ・4月17日(木) 令和7年度定期総会 33名
- ・4月25日(金) あちこち学習山歩85「小塩山」 7名

活動予定

1. 主なガイド
 - ・5月3日(土)～6月15日(日)の土・日 定点ガイド 全班
 - ・5月17日(土) 春の天王山ウォーキング 全班
 - ・5月23日(金) 京都SKY大学同窓研修会 1班
 - ・6月4日(水) 大阪府北部コミュニティカレッジ 3班
2. 行事予定
 - ・5月15日(木)～12月25日(木) ふるさと案内人養成講座
 - ・5月26日(月) あちこち学習山歩86「天王山の合戦・あれこれ」

3-4月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館ガイド		出前ガイド		定点ガイド		合計	
3月	8件	129人	2件	68人	37件	105人	1件	35人	0件	0人	48件	337人
R6年度累計	43件	704人	6件	251人	378件	783人	3件	143人	631件	2,211人	1,061件	4,092人
4月	11件	86人	0件	0人	38件	82人	0件	0人	90件	330人	139件	498人

水辺の散策 2025

3月29日(土)計画通りに催行されました。遡ると令和2年から3年間は新型コロナウイルス感染拡大で中止を余儀なくされ、昨年は雨で中止となり催行できたのは2年前で、前夜からの雨降りて実施が危うかったことを記憶しています。過去5年間で1度しか実施できなかったもので、何とか晴天で実施出来るように祈るばかりでした。当日は願いが叶って、風が強く寒い日でしたが、晴天で空気が澄んでいました。

当日のミーティングで参加者は43名と発表されました。旗番号③で須田さんがメインで5名のお客様を案内し、私はその補助をしました。離宮八幡宮でお客様のお名前を確認後、挨拶をして自己紹介をしていただきました。桂川の早瀬は「ゴォー」と凄まじい水の流れ。自然に出来た早瀬の岩礁に「わあっ…」と感嘆さ

れておられました。堤防道は愛宕山、比叡山がすっきり眺められて、草花も咲き、野鳥の囀りも楽しめました。「青い山脈」を一緒に歌い楽しく会話をしながら散策しました。また、淀川河川公園では一緒に昼食して親睦を図りました。

夢ほたる公園で抹茶やコーヒーの接待を受け、西山天王山駅に到着。駅で御礼の挨拶をして、春の天王山ウォーキングの参加と養成講座受講の願いをしてお別れしました。須田さんは丁寧に説明されて、お客様は熱心に聞いておられました。

(3班 山本 隆 記)



歴史講演会「前近代淀川河川敷の景観」に想う

3月23日(日)、講師に大山崎町歴史資料館の福島館長をお迎えし、歴史講演会を開催しました。会場には60人超の人が集まり、淀川河川敷への関心の深さを体感しました。

古代より大山崎には山崎橋、山崎津が建造され、川との関係が深く、中世には淀川水運によって油販売等さらに栄えていたこと、渡し場、堤防、排水路の変遷の態を時代毎に学習しました。

中でも興味深かったのは、江戸時代から明治時代にかけての木津川、小泉川等の付け替え工事の経緯でした。地形を読み、いかに効率良く他の障壁とも調整して水路を導くか、知恵の深さに驚嘆したものです。

三川合流地点の変遷、景観の様変わりは、先人の労苦の証しだった訳です。

古文書や古地図、地籍図によって、それが土砂堆積、逆流、氾濫との戦いの歴史であったこと、大変な労力、人手を伴う大仕事を敢行してでも、生きて

生活を支えるための切実な願いであったことが伺えます。

古来より川は人々にとって最も身近な欠かせない存在であったこと、ナイル川とエジプト文明、黄河・長江と中国文明、チグリス川・ユーフラテス川とメソポタミア文明、インダス川とインダス文明、いずれも川の恵みと脅威との関わり、戦いの歴史があり、そこに文明が発展したことに思いを馳せます。

川と文明、大山崎がいかに恵まれた地域であったか、あらためて実感しました。

また、地域史は生涯学習であり、史料の発見により常にリニューアルしていくものであることを今回の講演会で教わりました。

(4班 高垣真二 記)



乙訓ボランティアガイド研修交流会に参加して

第2回の研修交流会のテーマは、2026年1月から放映予定の大河ドラマ「豊臣兄弟！」がモチーフ。堺屋太一著の「豊臣秀長」に感動したので、歴史好きとしては心が高鳴ります。

プレゼンテーションは、プロジェクターを使い「大山崎町の全景」を吉岡会長が発表しました。今回は、近隣のボランティアグループとのコラボイベントやガイドツアーを実現したいものです。大河ドラマをきっかけに大山崎町の歴史をさらに広め、より一層有名になるよう発信していきたいですね。

締めくくりは、(株)らくたびの若村亮氏によるワークショップでした。「わかりやすいガイドとは？」というテーマで、「本能寺の変」の歴史を題材に、どのように話せばわかりやすくなるかについて解説し

ていただきました。セリフをつけることで、想像力が増し、話が面白くなるという点にワクワクしました。

前回の研修では、向日市の方々や長岡京市の方々も「ガイドの高齢化に伴い活動が制限される」という悩みを共有していました。将来的には「会員の減少」も大きな課題となります。若い世代を取り込むことが求められています。

これからも子どもたちに喜んでもらえるガイドを目指していきたいです。

(1班 皆本芳子 記)



会員動向

昨年度中に、1班の奥野 稔氏、2班の故澤田僚一氏、3班の加藤文則氏、4班の山本復一氏が退会されました。OFGへのこれまでのご貢献に感謝申し上げます。